

第 42 回／2022 年

## 児童図書館員養成専門講座募集要項

●目的 公共図書館の児童サービスの現場で中心的役割を果たし、指導者・助言者として活躍できる人を養成する。

●期 日

前期 2022 年 6 月 27 日(月)～7 月 2 日(土) [6 日間]

後期 2022 年 9 月 26 日(月)～10 月 5 日(水) [9 日間] 10 月 1 日(土)は休み

●会 場：主に日本図書館協会

(6/30 東京子ども図書館, 10/3 国立国会図書館国際子ども図書館・現地集合)

●応募資格：上記の目的に適う、次の条件を満たす人。

- (1) 司書有資格者であること。
- (2) 公共図書館職員として 5 年間以上の経験を持つこと。
- (3) 公共図書館の児童サービス担当を 2 年間以上経験していること。

\*なお、全日程を受講すること。

●募集人数：20 名程度

●応募方法

- (1) 本人の略歴：所定の受講申込書に、氏名、フリガナ、年齢、勤務先（連絡先）所在地、現在の雇用形態および職名、司書資格取得方法および年月日、公共図書館員としての職歴、図書館員としての経験年数および児童サービス担当経験年数等を記載する。【所定受講申込書（Excel）のご請求は裏面メールアドレス宛へ】

- (2) 課題① 「児童図書館員養成専門講座受講を必要とする理由」について本文 1,300 字から 1,400 字（A4 用紙 1 ページ以内・縦置き横書き、課題名・氏名はヘッダーに記入）にまとめること。

課題② 以下に掲げる課題図書を読み、その中の一文を引用しながら、実際のサービスにどのように活かせるのか、本文 1,300 字から 1,400 字（A4 用紙 1 ページ以内・縦置き横書き、課題名・氏名はヘッダーに記入）の感想にまとめること。

『児童図書館への道』ハリエット G. ロング著 友野玲子訳 日本図書館協会

（字数不足あるいは字数超過は原則として審査対象とならないので注意すること）

上記(1), (2)を 4 月 14 日(木) (当日 16:00 必着) までに、裏面メールアドレスの「日本図書館協会児童図書館員養成専門講座係」宛に、件名を「第 42 回養成講座応募」としたメールの添付ファイル（受講申込書は Excel、課題は Word のみ可）にて送ること。

※課題の提出および講座期間中の資料送付は、原則としてメール添付で行います。

複数の添付ファイルが受信できるメールアドレスを用意してください。

●受講者決定通知：5 月中旬に本人宛に通知する。

受講者の決定は、児童青少年委員会の書類審査による。受講決定後、必読図書と各科目の課題を通知する（課題未提出の場合、受講資格はないものとする）。

●参加費：6 万円（日本図書館協会個人会員または施設会員は 1 名につき 4 万円）

●修了証：全日程を受講した者に修了証を発行

●主催：公益社団法人日本図書館協会

●共催：国立国会図書館国際子ども図書館（10 月 3 日）

●後援：全国公共図書館協議会

## 第42回(2022年)児童図書館員養成専門講座カリキュラム(予定)

**前期日程：2022年6月27日～7月2日**

		午 前 (9:30～12:30)	午 後 (1:30～4:30)
6月27日	月	開講式	島 弘 (児童青少年委員会委員長)
28日	火	児童奉仕の運営・年間計画	川上博幸 (元枚方市立津田図書館)
29日	水	児童サービスの実際(1) 図書館の魅せ方	押樋良樹 (押樋デザイン制作所)
30日	木	児童図書館員の仕事 おはなし・ブックトークの実演/見学	張替恵子 (東京子ども図書館理事長) 東京子ども図書館
7月1日	金	児童サービスの実際(2) 選書・蔵書構成	杉岡和弘 (姫路市立図書館白浜分館)
2日	土	児童図書の編集・出版 千葉美香 (偕成社)	脳科学から見た子どもの読書の重要性 酒井邦嘉 (東京大学)

\*会場：6月30日(木)は東京子ども図書館 (現地集合・解散)

**後期日程：2022年9月26日～10月5日**

**【10月1日(土)は休み】**

9月26日	月	児童サービスの実際(3) ストーリーテリング	加藤節子 (東京子ども図書館)
27日	火	児童サービスの実際(4) 科学の本と科学あそび	市川美代子 (科学読物研究会)
28日	水	児童資料(1) 絵本	依田和子 (よこはまライブラリーフレンド)
29日	木	児童サービスの実際(5) レファレンス	浅沼さゆ子 (東京都立多摩図書館)
30日	金	児童サービスの実際(6) 乳幼児サービス	島本まり子 (浦安市教育委員会)
10月1日	土	休み	
2日	日	児童資料(2) 外国の児童文学	早川敦子 (津田塾大学)
3日	月	児童資料(3) 日本の児童文学 国立国会図書館国際子ども図書館 見学	宮川健郎 (大阪国際児童文学振興財団)
4日	火	児童サービスの実際(7) ブックトーク	杉山きく子 (元東京都立多摩図書館)
5日	水	児童サービスの実際(8) 図書館利用に障害 のある子どもたちへのサービス 山内 薫 (元墨田区立図書館)	研修の自己評価とまとめ 島 弘 (児童青少年委員会委員長)

\*会場：10月3日(月)は国立国会図書館国際子ども図書館 (現地集合・解散)

**連絡・問合せ・申込先：** 日本図書館協会 児童図書館員養成専門講座事務局  
 〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14  
 ☎03-3523-0811  
 E-mail : jidou@jla.or.jp